

和泉市議会だより



発行：和泉市議会 編集：広報広聴委員会（和泉市府中町二丁目7番5号）電話：0725-99-8154（議会直通）
和泉市議会ホームページアドレス：<http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html>

平成24年第3回定例会は10月1日開会の予定です



尾井町にある蔭涼寺（いんりょうじ）のギンモクセイ【大阪府指定天然記念物】

平成24年第2回定例会終わる

市議会では、平成24年第2回定例会を6月14日から6月29日までの16日間の会期で開催しました。

初日には議案19件や報告20件、請願1件などが上程され、各案件を所管の常任委員会に付託しました。

翌日から常任委員会を開き、付託された議案等についてそれぞれ審査を行いました。

また、26日から28日の3日間で14人の議員が市政全般に対して一般質問を行い、活発な質疑・答弁を交わしました。

最終日は、まず初日に委員会付託された議案その他について採決を行い、その後、議員提出議案「和泉市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について」などを上程し、質疑・討論が行われた後、それぞれ可決等しました。

目次

- 常任委員会審査報告
定例会審議結果一覧表
・・・2～3ページ
- 一般質問、意見書
・・・3～7ページ
- 第3回定例会の予定
常任委員会視察報告等
・・・8ページ



常任委員会 審査報告

本会議初日に上程された議案は各所管委員会に付託され、審査が行われました。

都市環境委員会

市道路線の認定について (北信太駅歩1号線)

【委員】従来は駅を利用する方のための地下通路だったが、市道認定することによって踏切を通らずに横断できるようになる。

【理事者】障がいをお持ちの方が駅を利用する時は駅員さんがサポートすると思うが、駅を利用しない場合はどのようにサポートするつもりなのか。

【理事者】現在、自由通路に関してバリアフリー化はできていない。エレベーターの設置については用地等の解決すべき課題が多々あり、今後の検討課題だと考えている。

【委員】以前「ここは自由通路なので申し出があれば駅員さんがサポートする」と聞いていた。どちらになるのか。

【理事者】駅員さんに協力を願い、さらに介助をお願いしなくてもいいようにバリアフリー化に向けて現在検討しているところである。

【委員】10月末オープンという期日が決まっている時期にさらにバリアフリー化を考えるとというのは本末転倒である。当初からバリアフリーを含んだ設計にして工事をするべきである。

総務安全委員会

財産取得について(和泉市デジタル防災行政無線施設(移動系)構築用備品(和泉市役所統制局ほか))

【委員】今回の移動系防災行政無線は双方方向通信で各町会や自治会にも配備されるということなので、これらの操作について職員も含め町会長の方にも指導する必要があると思うが、研修体制はどうなっているのか。

【理事者】担当職員への研修はもちろんのこと、今回土砂災害などにより孤立化の可能性を考慮し拡張配備した横山校区、南横山校区、南松尾校区の町会・自治会に対して、平成25年5月以降に説明会などを実施してまいりたい。

移動系防災行政無線は、近年災害現場から災害対策本部への迅速な災害情報の収集や指揮命令など、円滑な通信手段を確保するとともに、他の関係機関との連携が容易であり、また多様化する通信ニーズにも柔軟に対応できるようになっている。今回導入した半固定型防災行政無線は平時時には携帯電話のように持ち運びすることも可能である。これらが従来設置していたアナログ防災行政無線との大きな違いである。

厚生文教委員会

和泉市立休日急病診療所条例を 廃止する条例制定について

【理事者】休日急病診療所の施設設備の老朽化が進む中、内科の代替医療機関が確保されたことに加え、これまで多大なご支援ご協力をいただいた医師会・歯科医師会・薬剤師会の理解が得られたため、9月末をもって廃止しようとするものである。

【委員】内科の代替医療機関とはどこか。その医療機関は現在の休日急病診療所と比べて診療内容の充実度はどうか。

【理事者】咲花病院の予定である。当病院は休日急病診療

所より検査機器の設備等も充実していることから、市民にとって医療環境は向上するものと考ええる。

【委員】ある程度長期的なスパンで代替医療機関を考えていただくために協定書を取り交わした方がいいと思う。また、他に廃止するメリットがあれば教えてほしい。

【理事者】財政面でこれまで毎年1,000万円、1,200万円の収支マイナスが出ているが、これらが解消される。

定例会審議結果一覧表

件名	委員会	本会議
● 工事請負契約締結について(仮称)和泉府中駅東自転車等駐車場新築工事	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
● 財産取得について(和泉市デジタル防災行政無線施設(移動系)構築用備品(和泉市役所統制局ほか))	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
● 和泉市公の施設から暴力団を排除するための関係条例の整備に関する条例制定について	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
● 和泉市附属機関に関する条例等の一部を改正する条例制定について	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
● 和泉市税条例の一部を改正する条例制定について	可決 (全会一致)	可決 (賛成多数)
● 市道路線の認定について(北信太駅歩1号線)	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)



市政に対して 14人の議員が 一般質問

第2回定例会で行われた一般質問の内容をここでは紙面の都合上、一部を要約して掲載しています。

北部地域について

柏 富久蔵 議員

【議員】和泉府中駅前再開発事業では、平成25年春には駅の橋上化や自由通路の整備が終わり、駅前広場の整備についても平成26年度春に完成予定と聞いているが、以前から私が要求している北信太駅前の整備についてどう考えているのか。

【理事者】北信太駅前整備については、平成12年度から事

業化に向けた取り組みとして、駅前広場や道路整備のみならず、地域資源の活用といったまちづくりの観点で検討を行った経緯があるが、和泉府中駅前再開発事業と同時に整備することは財政的に困難であることから、和泉再生プランの期間中には事業化できないが、期間後に整備に向けた調査・研究を行っていく。

【議員】北信太駅は一日の乗降者数が多く、駅前にバス・タクシーや送迎車両が寄り付ける広場がないので非常に危険であり不便でもある。については、和泉再生プラン期間後に整備に向けた検討をするとの答弁であったが、和泉府中駅前再開発事業の終結が見えてきたので、引き続き北信太駅前も整備できるよう早い時期から準備をしてほしい。

【理事者】北信太駅前整備についても、駅周辺のまちづくりのあり方について再検討するとともに、事業手法の検討や国費の確保など前向きに取り組んでいく。

その他の質問項目

・忠霊塔について

・府立の学校と和泉市との連携について

7月1日から 議員報酬を減額

3月の定例会で議員報酬を10%削減する議案が審議未了となったことを受けて、4月に一部会派から議長宛に議員報酬等の議会改革について協議を行う場の設置を求める申し入れがありました。

早速、各会派の代表者会議において「議会改革検討会議」を立ち上げることが決定し、まず議員報酬の削減について、6月の定例会に向けて議会総意の成案をめざして議論を重ねましたが、結果として総意は得られず、最終日に議員報酬の削減について二つの議案が提出されました。

一つは議員報酬月額（60万円）を平成28年3月31日まで5%削減（月額3万円・45ヵ月・効果額約3、251万円）するもので、もう一つは平成25年3月31日まで15%削減（月額9万円・9ヵ月・効果額約1、929万円）するものでした。議案の提案理由をそれぞれが述べた後、質疑・討論が行われ、5%削減する議案を賛成多数で可決し、7月1日から施行されています。

請願審議結果	件名	結果	
		委員会	本会議
●	和泉市手数料条例の一部を改正する条例制定について（採石法関係）	可決 （全会一致）	可決 （全会一致）
	和泉市手数料条例の一部を改正する条例制定について（砂利採取法関係）	可決 （全会一致）	可決 （全会一致）
	財産の交換について	可決 （全会一致）	可決 （全会一致）
	和泉市立休日急病診療所条例を廃止する条例制定について	可決 （全会一致）	可決 （全会一致）
	和泉市立和泉診療所条例の一部を改正する条例制定について	可決 （全会一致）	可決 （全会一致）
	平成24年度和泉市一般会計補正予算（第1号）	可決 （全会一致）	可決 （全会一致）
	平成24年度和泉市市街地再開発事業特別会計補正予算（第1号）	可決 （全会一致）	可決 （全会一致）
	平成24年度和泉市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決 （全会一致）	可決 （全会一致）
	市長の専決処分事項に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決 （全会一致）	可決 （全会一致）
	和泉市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決 （賛成多数）	可決 （賛成多数）
その他、議案5件、報告20件、監査報告10件、意見書4件がそれぞれ可決等されました。			
●南池田第一保育園・第二保育園統廃合 民営化計画の中止を求める請願			
		不採択 （賛成少数）	不採択 （賛成少数）

教育行政について

矢竹 輝久 議員

【議員】来年度に向けて小学校の任期付校長を1名採用しようとしているが、府教委の考え方はどうなっているのか。

【理事者】府教委として、公立小中学校において民間企業等での経験を持ち、柔軟な発想や企画力を活かした学校運営や課題を解決できる人材を募集し、選考を実施する。

【議員】本市が任期付校長を採用する意向を示した経緯は。

【理事者】今年度、府教委の募集案内に対して、和泉市として採用する意向を示したものである。府教委として求める人物像に加え、和泉市としては小中一貫教育を視野に入れた学校運営に意欲的に取り組める者を募集している。

【議員】採用スケジュールは。

【理事者】一次選考が7月8日に行われ、8月中旬に二次選考が行われる。最終合格者は平成25年1月から3月までの研修期間を経て、4月から平成28年3月まで採用となる。

【議員】今後の方向性は。

【理事者】府教委において選考されるが、市教委としても

選考に参加する。市教委として求める人物がいなければ、採用を見送ることもできる。平成25年度に採用が決定した時には、任期付校長の実績を検証しながら、平成26年度以降の採用について検討していく。

【議員】若干違和感を覚えるが、手続きを丁寧にしていくとのことでは理解しておく。

■その他の質問項目
・契約等について

空き家対策について

石原 日出子 議員

【議員】老朽化し、放置しておくで強風や地震による倒壊や、放火による火災などの恐れがある空き家は深刻な問題となっている。しかし、個人の財産であるため、所有者がわからない場合も含め、踏み込んだ対応ができていないが、大阪府下の動きや対応策について検討されたのか。

また、全国的に「老朽家屋等の適正管理に関する条例」などを制定する動きが広まっているが、市としてはどのように考えているのか。

【理事者】空き家対策につい

ては大阪府が招集した「放置された老朽空き家対策検討ワーキング」にて対応策が検討されているところである。この中で、実態把握の方法、市民からの通報・相談の仕組みづくり、危険な空き家の判断基準、勧告・命令に至るまでの手順マニュアル、所有者が特定できない場合の対応方法などが示され、最終的に府内の市町村に情報提供される。

今後は大阪府をはじめとした府下市町村の条例制定も視野に入れた検討状況等を見定め、積極的に対応していく。

【議員】適切な管理がなされていない空き家の周辺に住んでいる方は、倒壊や火災等の不安を抱えながら毎日の生活を送っている。その方々の生命と財産を守るのも行政としての責任である。安全・安心のまちづくりの観点から条例制定に向けてしっかりと取り組んでいただきたい。

■その他の質問項目
・セルフネグレクトについて

防災・減災と和泉市のまちづくりについて

吉川 茂樹 議員

【議員】学校施設について建

物自体の耐震が完了しても、非構造部材の耐震ができていなければ、子ども達の安全対策ができていとは言えず、また体育館は避難所になっていることから、早期の対策が必要と考えるが市の考えは。

【理事者】建物自体の耐震化は平成25年度に100%を達成する予定だが、非構造部材の耐震化についても今後実施する必要がある。今年度耐震補強工事の設計を実施する学校については非構造部材の耐震化も実施予定である。それ以降は危険性の高い箇所から年次的に耐震化を行ってまいりたいと考えている。

【議員】北信太駅の自由通路は高齢の方や障がいをお持ちの方々こそ必要とされる。斜行式エレベーターの設置などは技術的にできるのではないのか。

【理事者】先の議会で議員からエレベーターの設置が必要との意見があったことからJRと協議を行い、エレベーター設置に関する協議を継続することはやぶさかでないとの見解をいただいている。今後の課題として引き続き検討していく。

【議員】引き続き検討していくには予算の確保が必要であ

る。来年度予算に繰り込まれるのか。

【理事者】エレベーター設置に向けて調査が必要であり、予算確保に向け前向きに進めてまいりたい。

■その他の質問項目
・子育て支援と教育について

中部地域について

金児 和子 議員

【議員】再生プランで閉鎖とされた中高年齢労働者福祉センター（サンライフ和泉）について、3月議会では市は、閉鎖に向けて理解を得る為指定管理人の1年延長を説明し議会で可決した。しかしその後何の説明もなく議会にもかけず、突然市は6月議会で「生涯学習施設として残す」「借地解消をはかる」と報告。4月に異動した職員の後任はどのような引継ぎを受けたのか。

【理事者】「閉鎖」と引継ぎを受け、4月に講師を対象とし、各講座については9月末までに終了する等の説明をした。その後、利用実態を踏まえ様々な意見が出された。

【議員】光明池のコミュニティ体育館も近隣町会館も十分全

講座受け入れ可能である。サ
ンライフは指定管理料約2千
5百万円、借地料約3百万円
を毎年税金から支出。土地購
入なら8千万円超かかると、借
地料の26年分である。再生プ
ランとは何なのか。更に労働
センターとしての用途は終わ
り生涯学習施設として残すこ
う議論のすり替えが行われ
ている。再生プランでは閉鎖
理由に「費用対効果が乏しい。
耐震補強が必要」としている
が、実際は昭和59年建築の新
耐震である等矛盾がある。こ
の存続は議会にかけなくても
良いのか。

【理事者】今後、条例廃止と
条例設置が上程され、そこで
議会の可決が必要となる。

■その他の質問項目
・学校給食におけるアトピー
性皮膚炎への対応

市民への熱中症対策に ついて

服部 敏男 議員

【議員】市民への熱中症対策
はどのように行うのか。

【理事者】6月からホームページでその症状や予防対策、対処方法などを掲載し、広報8月号にも掲載し、周知・啓発

に努めていく。
【議員】熱中症になりやすい
高齢者に対する啓発や注意喚
起の取組みは。

【理事者】介護予防の各種教
室などの機会に、年間を通じ
て啓発・注意喚起に努めてい
る。今後もあらゆる機会を通
じ、関係機関や庁内組織にも
呼びかけて、啓発・注意喚起
に努めていく。

【議員】特に高齢者のみの世
帯や独居高齢者に対する取組
みは。また、熱中症予防グッ
ズなどの配布の計画はあるか。

【理事者】高齢者の世帯につ
いてさらにきめ細かい注意喚
起が必要と思われるので、高
齢者福祉サービスの提供事業
者等に協力もいただき取組み
を進める。グッズの配布につ
いては今後研究していく。

【議員】今年は15%節電要請
などに伴う冷房控えなどによ
る熱中症が心配されるが、市
として例年にも増した注意喚
起の取り組みを行うのか。

【理事者】関係課と連携して
拡声器つき公用車での市内巡
回等により周知を図る。

【議員】公共施設を熱中症避
難場所として活用できないか。

【理事者】通りかかった市民
が熱中症の症状を呈したとき
にも、一時的な休憩ができる

よう施設所管の関係課と調整
していく。

町づくりの視点から 庁舎建設を考える

小林 昌子 議員

【議員】市は現在地に庁舎を
新築するとの方針だが、借地
料の問題もあることから総合
的な比較検討が必要だと思っ
た、なぜしなかったのか。

【理事者】新築でも現在地で
の建て替えが可能との結果か
ら、他の場所との比較検討は
行っていない。

【議員】庁舎関連で年間約6
千3百万円、市全体では約1
億6千万円の借地料を払って
いる。市の誕生から現在まで
と今後の借地料はいくらにな
るのか。また、この問題につ
いてのパブリックコメントは
実施しないのか。

【理事者】庁舎関連の借地料
は現在まで約15億5千万円弱。
今後の借地料は耐用年数65年
で来客用駐車場が不要の場合、
約24億円弱となる。耐震改修
または建て替えの判断は行政
と議会が中心となり進めるも
のと考えているので、市民意見
を盛り込む目的は薄い。ためパ
ブリックコメントの予定はない。

ただし、今後基本計画の策定
段階で、パブリックコメント
等の手段も検討したい。

【議員】市長に聞く。現在地
での建て替えを決めているの
か。それとも検討の余地はま
だあるのか。

【理事者】この場所での建て
替えが不可能であれば移転も
考えなければならぬが、建
設が可能なので現在地での建
て替えと判断した。また、原
則借地はしない考えなので、
用地買収を進めたい。

■その他の質問項目
・放射能を含むがれきの広域
処理は被災地の支援になるか

男女平等政策について

大橋 涼子 議員

【議員】女性政策担当課設立
の背景と、その後の経緯およ
び現在の組織としての位置づ
けはどうなっているのか。

【理事者】国際的な女性差別
撤廃に向けた運動の高まりや
国の積極的な方針を受け、全
庁的に女性施策を展開してい
くため20年前に女性政策課を
設置した。その後、部の変更
を経ながら現在は人権・男女
参画室となっている。

【議員】設置時は市長直轄部
署であったが今は離れている。
また予算の変遷を見てもピー
ク時の6割以下となっている。

センターにいたっては4分の
1という数字である。条例や
参画計画で掲げる政策の進捗
状況はどうなっているのか。

【理事者】審議会等の女性の
登用は計画の30%を達成し、
現在は33%を目標としている。
幼稚園や学校での取組みも進
められている。女性に対する
暴力防止については、相談件
数も増加し課題となっている。

【議員】審議会等の参画率に
はばらつきがあり、特に防災
計画への参画率は低い。非常
時に女性が困難な状況に置か
れることは昨年の大震災でも
明らかとなっている。比率を
高め、女性のワーキングチー
ムで検討し、計画への反映を
是非行なっていたきたい。
また女性への暴力についても
大きな人権侵害であることを
しっかり受止め、労働などあ
らゆる分野での取組みを望む。
■その他の質問項目
・公民協働について

和泉市の保育行政について

岡 博子 議員

【議員】①4月1日現在の待機児童数②公立・民間の各第一希望者数③定員超の保育所数④バス移動により1日3カ所で保育されている児童数は。

【理事者】①41名②公立は定員1、600名に対し1、502名、民間は定員1、490名に対し1、816名の申し込み③公立14園中5園、民間12園中11園④4名。

【議員】120名規模の園で、公立と民間で人員体制に10名も違いがある理由は。

【理事者】1歳と3歳児に対する保育士配置数や調理員数が違う。また民間は栄養士や用務員を配置していない園が多い。

【議員】結局、保育所費で市が持ち出す額は民営化しても人件費相当分しか減っていない上、公立並みの人員配置ができないのが実情である。つまり民営化でサービスが低下していると言える。

公立は定員以上の申込者があるのに、定員を割った入所数になっているのはなぜか。

【理事者】5月以降の保育の必要度が高い人の申し込みを想定し余裕を持たせている。

【議員】民間の障がい児受け入れは公立の半分だが、定員以上を入所させ、公立は申し込みがあるのに空けるという不公平な入所配置だ。また子どもに負担となる1日3カ所での移動保育などは民間園の経営を重視した保育行政とは思えない。公立並みの保育内容への改善を強く要望する。

■その他の質問項目

あるテーマパークに学ぶ「人材育成」と「危機管理」について
杉本 淳 議員

【議員】職員研修で法制執務のような研修のほか他に分野で活躍されている方の講演等を実施しているか。

【理事者】市においては、マイクロソフト社の川原氏、大阪府のマッセセセミナーでは、登山家の野口氏や元阪神タイガースの矢野氏などの講演がある。

【議員】あるテーマパークでは、企業向けの研修プログラムやセミナーが設けられているが、

本市でも新規採用職員や人事課担当職員が受講してはどうか。

【理事者】当該セミナー等への参加については、費用対効果も見極めながら今後検討してまいりたい。

【議員】以前にもお尋ねしたが、職員の制服については現在、技術的な職種を除いては廃止となっており、廃止の理由として経費等などが上げられているが、市側の都合ではなく、市民サービスを提供するという観点に立てば、むしろ逆に必要不可欠なものではないのか。

【理事者】来庁された市民の方との信頼関係や職員の服務規律の問題等も考え合わせながら、議員ご指摘の趣旨、廃止をした理由や他市の動向などを踏まえて今後の検討課題としてまいりたいと考えている。

■その他の質問項目

・市役所の駐車場問題について

子育て環境の整備について

浜田 千秋 議員

【議員】和泉市では未だ待機

児童が解消されない状況が続いている。また一方では、一時保育や特定保育等の利用も年間およそ3千名近くに及んでいる。一時保育等の利用は原則として、保育を希望される保護者が園に直接連絡を入れる事となっているが、緊急を要する場合、個人で入所先を確保することは大変大きな負担を強いられることになる。

事情を考慮し、市民の心に寄り添った対応を心がけていたきたい。今後このようなケースのご相談があった場合、市としてどのような対応ができるのかお示し願う。

【理事者】緊急保育については、一時保育で対応することとなるが、体調の悪い妊婦さん等にとっては大きな負担となることから、緊急を要するケースについては、電話を受けたこども未来室及び保育園の担当者から空きのある一時保育園をすぐに照会できるような連携システムを検討してまいりたいと考えている。

【議員】子育て環境の整備に関しては、一時保育だけでなく、里帰り出産、病後児保育、病児保育施設の設定など多くの課題がある。子育て世代の人達が安心して子どもを産み育てられるような和泉市を目指し、一日も早い整備を要望する。

【議員】例えば市へ改善等を指摘した事項への対応の中で、「誰某に言われたから」と市職員としての責任を回避するような職務執行姿勢はいかなものか。改めるべきである。

職員の職務執行姿勢について
赤阪 和見 議員

【理事者】本来、市の主体的な判断で対応すべきであり、指摘いただいた個人の名前を出すのはプライバシーや個人情報保護の観点から問題であると認識している。

【議員】市に対する信頼を損なわないよう、襟を正して職員の教育をやっていたいただきたい。

特殊勤務手当の取扱いについて、臨時職員が職員と同じように死獣の処理を行っても手当が支給されないのはおかしいので、是正すべき。

トピックス



常任委員会視察報告

他市の先進事例を学び、市政に活かすため、各常任委員会が行政視察を行いました。内容は次のとおりです。

■都市環境委員会

日程：4月16日～17日

視察先：①山口県宇部市
②山口県防府市



目的：①うべ元気ブランド認証制度の概要及び取り組みについて
②まちの駅「うめてらす」の概要と現況について

■厚生文教委員会

日程：4月23日～24日

視察先：①大分県中津市
②大分県豊後高田市



目的：①24時間地域巡回型・随時訪問サービスモデル事業
②「学びの21世紀塾」事業について

■総務安全委員会

日程：4月25日～26日

視察先：①愛知県豊田市
②京都府京都市



目的：①トータル人事システムについて
②市民防災センターの概要及び施設見学



傍聴してみませんか

議会を傍聴してみると、現在市が取り組もうとしている施策が分かり、市政に関心を持つきっかけにもなります。

傍聴券に住所、氏名を記入するだけで傍聴できます。

- ・議 場・・・1号館4階【定員40名】
入口は1号館3階税務室資産税横
車いすの方は議会事務局まで
- ・委員会室・・・3号館3階【定員7名】

※受付時間は会議開会時間の15分前からです。

※会議の種類は下記「定例会の予定」をご覧ください。

平成24年第2回定例会の傍聴者数

(本会議／傍聴者のべ人数)

6月14日～6月29日(本会議5日間) 計29人

(委員会／傍聴者のべ人数)

6月15日～19日(3常任委員会) 計9人

第3回定例会の予定

議事の都合により日程や開会時間に変更される場合もありますので、詳しくは市議会事務局 0725-99-8154 へお問合せください。

日 程	会 議	場 所	開会時間
10月1日(月) ～5日(金)	本会議(役員選挙)	議 場	午前10時
10月10日(水)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時
10月11日(木)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
10月12日(金)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
10月15日(月)	総務安全委員会・協議会	委員会室	午前10時
10月16日(火)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
10月22日(月)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
10月23日(火)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
10月24日(水)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
10月25日(木)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時

過去の会議録が閲覧可能に



市議会ホームページにある会議録検索システムで、昭和47年から平成7年の会議録が閲覧できるようになりました。

会議録の検索 からご利用になれます。

編集後記

私どもは今号で広報広聴委員の任期を終了いたします。任期中は皆様のおかげをもちまして、大過なく「市議会だより」を発行できましたことに深く御礼申し上げます。今後とも弊紙をご愛読くださいますようお願い申し上げます。

〈広報広聴委員会〉

委員長 藤田 充
副委員長 石原 日出子
委員 山本 秀明
委員 早乙女 実
委員 小林 昌子
委員 小野 治三夫
委員 金見 和子
委員 知覧 正勝